

「今月の1枚」



(写真 1)



(写真 2)

ウバメガシ (ブナ科コナラ属) *Quercus phillyraeoides*

海岸線近くのウバメガシ林で今年の春に受粉したドングリ(写真1)を見つけました。

ドングリは大きく、受粉した年の秋に成熟するものと翌年の秋に成熟するものに分けられます。ウバメガシのドングリは後者のタイプで、受粉してから成熟するまで1年半かかります。ウバメガシと同じ常緑ガシ(Quercas)の仲間で、アラカシ、シラカシ、イチイガシは前者のタイプに、ウラジロガシ、アカガシ、ツクバネガシは後者のタイプに属します。後者のタイプの林では、普通、前年に受粉したドングリとその年に受粉したドングリが混生していますが、このウバメガシ林では今年の春に受粉した未成熟のドングリが小さな姿を見せているだけでした。前の年がドングリの不作年に当たっていたのかもしれませんが。

ウバメガシは山地にも自生しますが、耐乾性、耐塩性が強く、潮風の影響を受ける沿岸部でよく見かけます(写真2)。また大気汚染にも強いので街路樹としても利用されています。

本種は、堅く良質な炭としてよく知られている備長炭の原料です。しかし、最近は外国産の”備長炭”も出回っているようです。

(写真, 文：加茂皓一、2007年7月15日 高知県室戸岬にて撮影)

(NO.159 2007.08.28 掲載)